

# 本庄市国民健康保険第3期データヘルス計画 概要版

令和8年3月 本庄市保健部保険課

## 計画の背景と目的

本市では、国の「日本再興戦略」等に基づき、レセプトデータや健診結果の分析を活用し、効果的・効率的に保健事業を行うべく、第1期および第2期のデータヘルス計画を策定し、保健事業を実施してまいりました。

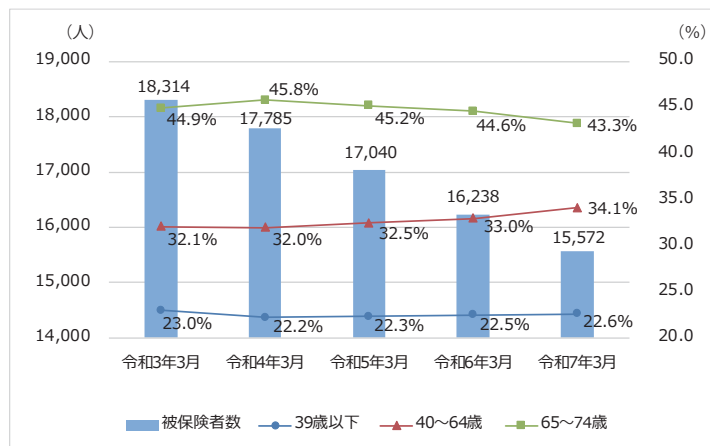
この度、第2期計画における実施結果の評価を行うとともに、国が示す「健康日本21（第三次）」等の内容を反映し、令和8年度から令和11年度までを計画期間とする「第3期データヘルス計画」を策定いたしました。

## 本市の現状

### 国保加入者の推移

国保被保険者数は全体として大幅に減少しており、その構成は40歳から64歳の中高年層の割合が増加する一方で、65歳から74歳の割合が後期高齢者医療への移行により減少しており、国保加入者の世代交代と高齢化の進展が示唆されます。

国保加入者の推移



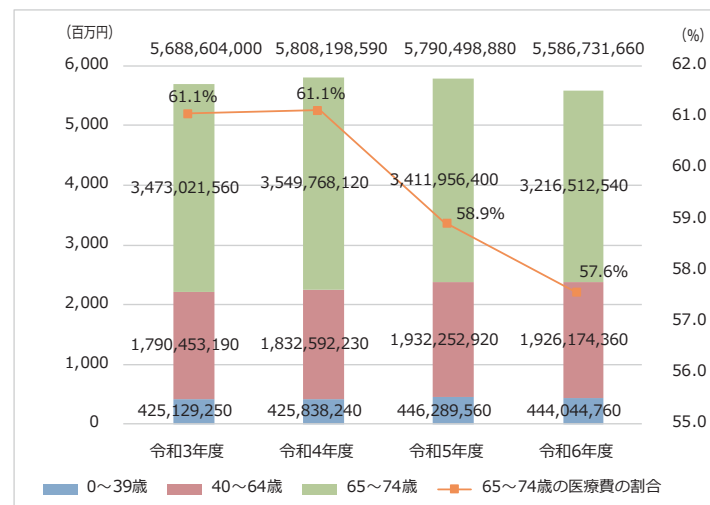
資料：本庄市「年齢別男女別被保険者数調（医療費分）」各年3月31日時点

### 医療費の推移

本市の医療費は、令和4年度移行減少しています。特に、65歳から74歳の医療費は減少傾向にありますが、令和6年度の医療費に占める割合は57.6%と高い水準を保っています。

本市の総人口が減少し、高齢化率が上昇していることを踏まえると、今後、高齢者の医療費は増加していくことが示唆されます。

医療費の推移（令和3年度～令和6年度）



資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（大分類）」

### 生活習慣病に占める医療費（入院+外来）

上位5疾患の「悪性新生物」、「糖尿病」、「慢性腎不全（透析あり）」、「高血圧症」、「脂質異常症」での医療費は1,765,789,440円で、総医療費の31.6%を占めています。

疾患別に医療費を分析すると、「悪性新生物」が総医療費に占める割合は、本市（15.8%）は県（16.7%）や国（16.8%）よりも低くなっています。一方、「高血圧症」と「糖尿病」は、総医療費に占める割合が県や国よりも高いという特徴が見られます。

生活習慣病における医療費（県・国との比較）

令和6年度	本市		県		国	
	入院+外来	総医療費に占める割合	入院+外来	総医療費に占める割合	入院+外来	総医療費に占める割合
A 高血圧症	169,462,770	3.0	11,400,826,260	2.5	217,235,954,960	2.6
B 糖尿病	306,361,290	5.5	23,026,146,630	5.1	419,594,140,310	5.0
C 脂質異常症	111,303,200	2.0	8,613,100,430	1.9	159,538,877,600	1.9
D 脳梗塞	55,859,190	1.0	6,189,934,000	1.4	114,604,544,140	1.4
E 脳出血	25,964,290	0.5	3,176,925,650	0.7	57,755,257,980	0.7
F 狭心症	74,750,020	1.3	4,638,643,070	1.0	89,733,947,130	1.1
G 心筋梗塞	17,744,870	0.3	1,713,624,830	0.4	29,085,271,610	0.3
H 脂肪肝	3,642,940	0.1	353,516,860	0.1	8,052,936,090	0.1
I 痛風・高尿酸血症	6,423,570	0.1	380,611,790	0.1	6,986,360,130	0.1
J 慢性腎臓病(透析あり)	294,947,220	5.3	24,992,108,460	5.6	371,345,384,920	4.4
K 慢性腎臓病(透析なし)	16,453,400	0.3	1,521,691,870	0.3	27,425,241,870	0.3
L 悪性新生物	883,714,960	15.8	74,901,877,250	16.7	1,408,280,579,340	16.8
M 動脈硬化症	3,454,380	0.1	413,374,860	0.1	8,646,663,030	0.1
小計	1,970,082,100	35.3	161,322,381,960	35.9	2,918,285,159,110	34.8
総医療費	5,586,731,660		448,890,829,440		8,392,537,814,580	

資料：KDBシステム「疾病別医療費分析（細小（82）分類）」  
「疾病別医療費分析（中分類）」

## 虚血性心疾患の患者数の状況

虚血性心疾患の患者数は減少しています。

虚血性心疾患の患者数は、70歳から74歳で最も高い割合（令和3年4月で8.2%、令和6年4月で7.1%）を示しており、患者数は減少傾向にあるものの、高齢層では依然として医療資源が多く使われている状況（レセプト件数の推移から）が示唆されます。

## 虚血性心疾患の患者数の状況

男女総数	令和3年4月				令和6年4月			
	被保険者数	1ヶ月のレセプト件数	虚血性心疾患		被保険者数	1ヶ月のレセプト件数	虚血性心疾患	
			人数	割合 (%)			人数	割合 (%)
20~59歳	8,600	3,615	88	1.0	7,674	3,785	88	1.1
60~64歳	1,735	1,115	69	4.0	1,535	1,140	63	4.1
65~69歳	3,523	2,692	191	5.4	2,999	2,469	147	4.9
70~74歳	4,686	4,279	384	8.2	4,324	4,155	305	7.1
合計	18,544	11,701	732	3.9	16,532	11,549	603	3.6

資料：「KDBシステム 厚生労働省様式（様式3-5）虚血性心疾患のレセプト分析」

## 脳血管疾患の患者数の状況

脳血管疾患の患者数は減少していますが、被保険者数に対する割合は、横ばいの状態です。

脳血管疾患の患者数は、年齢が上がるにつれて増加し、70歳から74歳が最も多くなっていますが、令和3年4月と比較して人数が減少しています。一方で、60歳から64歳では患者数が増加していることが注視されます。

## 脳血管疾患の患者数の状況

男女総数	令和3年4月				令和6年4月			
	被保険者数	1ヶ月のレセプト件数	脳血管疾患		被保険者数	1ヶ月のレセプト件数	脳血管疾患	
			人数	割合			人数	割合
20~59歳	8,600	3,615	73	0.8	7,674	3,785	55	0.7
60~64歳	1,735	1,115	55	3.2	1,535	1,140	64	4.2
65~69歳	3,523	2,692	160	4.5	2,999	2,469	141	4.7
70~74歳	4,686	4,279	329	7.0	4,324	4,155	286	6.6
合計	18,544	11,701	617	3.3	16,532	11,549	546	3.3

資料：「KDBシステム 厚生労働省様式（様式3-6）脳血管疾患のレセプト分析」

## 人工透析者と新規人工透析者の推移

人工透析の患者は、年々減少しています。

新規人工透析の患者は、令和4年度の19人から令和6年度は16人と減少しています。

新規人工透析の有病状況を見ると、令和6年度は「糖尿病」は56.3%、「高血圧症」は68.75%と、非常に高い割合を占めていることから、透析予防には「糖尿病」と「高血圧症」への対策が重要であることが示唆されます。

## 人工透析の患者数と新規人工透析の患者数

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人工透析者の患者数	人数	101	99	90	84
人工透析の患者数/被保険者数	割合	0.55	0.56	0.53	0.52
新規人工透析の患者数	人数	-	19	16	16
糖尿病有病者	人数 (割合)	-	11 (57.9)	12 (75)	9 (56.3)
高血圧症有病者	人数 (割合)	-	15 (78.9)	9 (56.3)	11 (68.75)
虚血性心疾患有病者	人数 (割合)	-	8 (42.1)	4 (25)	3 (18.75)
脳血管疾患有病者	人数 (割合)	-	7 (36.8)	6 (37.5)	2 (12.5)

資料：KDBシステム「厚生労働省（様式2-2）人工透析のレセプト分析」

## 重複・頻回受診、重複・多剤投与の状況（令和6年度）

ひと月に3医療機関以上を受診	532人（44.3人/月）
ひと月に同じ医療機関で10回以上受診	1,544人（128.7人/月）
ひと月で同じ効用の薬を4医薬品以上処方	607人（50.6人/月）
ひと月で20種類以上の医薬品を処方	313人（26.1人/月）

## 後発医薬品の使用状況

本市の後発医薬品の数量シェア率は年々増加しており、国が最も高く、本市は令和3年度以降は県より高くなっています。

## 後発医薬品数量シェアの推移

後発医薬品数量シェア率	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本庄市	81.2	82.1	83.4	86.1
県	80.3	81.3	82.9	86.0
国	82.0	83.2	84.8	88.4

資料：本庄市・県 後発医薬品(ジェネリック医薬品)数量シェアの推移(全体(医科+調剤) 国 厚生労働省 「調剤医療費(電算処理分)の動向」

## 特定健診受診率・特定保健指導実施率

本市の特定健診受診率は微増傾向にあります。特定保健指導の実施率は増加しており（16.0%から41.9%へ）、動機づけ支援（21.6%から49.6%へ）と積極的支援（1.8%から19.7%へ）の両方で県や国（令和5年度の値）を大きく上回る高い実施率となっています。

## 特定健診受診率・特定保健指導実施率

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特定健康診査					
受診率	本市	33.6	34.3	36.5	35.1
	県	38.2	39.4	40.4	40.8
	国	36.4	37.5	38.2	
特定保健指導					
実施率	本市	16.0	29.8	24.3	41.9
	県	19.4	18.9	18.7	19.9
	国	27.9	28.8	29.1	
動機付け支援					
実施率	本市	21.6	36.3	28.0	49.6
	県	21.8	21.3	21.0	22.7
	国	31.1	32.1	32.5	
積極的支援					
実施率	本市	1.8	13.3	15.2	19.7
	県	11.4	11.1	10.9	11.1
	国	17.8	18.3	18.3	

資料：本庄市・県「特定健診・特定保健指導保険者別実施状況」  
国：公益社団法人 国民健康保険中央会「市町村国保 特定健康診査等実施状況」

## 特定健診 性別・年齢別受診状況

令和4年度から6年度を通じ、女性の受診率が男性を約5から6ポイント上回っています。また、年齢層別では40代が最も低く、60代以降で急増し、70歳から74歳で最も高くなっています。

## 特定健診年齢別受診率

	年齢							合計
	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74以上	
男性								
令和4年度健診受診率	18.7	18.2	17.1	18.8	29.5	38.2	40.5	31.6
令和5年度健診受診率	15.4	19.8	21.1	20.9	29.3	40.6	44.7	33.9
令和6年度健診受診率	17.7	16.2	18.9	18.4	30.1	38.9	42.3	31.9
女性								
令和4年度健診受診率	21.0	23.4	25.7	24.6	35.6	41.0	43.2	37.0
令和5年度健診受診率	19.4	26.0	26.5	27.4	37.6	44.5	45.0	39.0
令和6年度健診受診率	19.9	24.1	24.9	27.5	34.3	42.7	46.1	38.3

資料：「性・年齢階級別特定健診受診率・特定保健指導実施率等（R4～R6）」

## がん検診受診状況

令和3年度から6年度にかけてのがん検診受診率は、全体として令和5年度をピークに横ばいから微減傾向にあります。乳がんや子宮頸がんなどの女性特有の検診は上昇しており、項目間での受診意識に差が見られます。

がん検診受診状況（％）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
胃がん (40歳以上の人)	10.4	11.4	11.6	10.6
肺がん (40歳以上の人)	9.1	9.6	10.2	9.7
大腸がん (40歳以上の人)	10.3	10.9	11.3	11.1
乳がん (40歳以上の女性)	11.9	13.0	13.4	13.8
子宮頸がん (20歳以上の女性)	14.1	14.9	14.9	15.1
前立腺がん (40歳以上の男性)	10.6	11.1	11.3	10.8

資料：「保健センター事業概要」

## 第2期計画実施事業の内容・実績・評価

### 中長期目標（内容・実績・評価）

中長期目標	実績値 (R1)	中間評価 (R4)	評価値 (R6)	目標値 (R7)	評価	
虚血性心疾患の患者割合の減少	患者割合	4.1	3.9	3.6	4.0	減少
	患者数	823	704	603	679	
脳血管疾患の患者割合の減少	患者割合	3.6	3.6	3.3	3.5	減少
	患者数	709	615	546	594	
新規人工透析導入患者数	14	19	16	11	増加	

評価の欄は「実績値(R1)」と「評価値(R6)」を比較したものです。

## 特定健診受診率・特定保健指導実施率

本市の特定健診受診率は微増傾向にあります。特定保健指導の実施率は増加しており（16.0%から41.9%へ）、動機づけ支援（21.6%から49.6%へ）と積極的支援（1.8%から19.7%へ）の両方で県や国（令和5年度の値）を大きく上回る高い実施率となっています。

## 特定健診受診率・特定保健指導実施率

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特定健康診査					
受診率	本市	33.6	34.3	36.5	35.1
	県	38.2	39.4	40.4	40.8
	国	36.4	37.5	38.2	
特定保健指導					
実施率	本市	16.0	29.8	24.3	41.9
	県	19.4	18.9	18.7	19.9
	国	27.9	28.8	29.1	
動機付け支援					
実施率	本市	21.6	36.3	28.0	49.6
	県	21.8	21.3	21.0	22.7
	国	31.1	32.1	32.5	
積極的支援					
実施率	本市	1.8	13.3	15.2	19.7
	県	11.4	11.1	10.9	11.1
	国	17.8	18.3	18.3	

資料：本庄市・県「特定健診・特定保健指導保険者別実施状況」  
国：公益社団法人 国民健康保険中央会「市町村国保 特定健康診査等実施状況」

## 特定健診 性別・年齢別受診状況

受診率は令和5年度に一時上昇したものの、令和6年度は男女ともに微減しています。全年度を通じ、女性の受診率が男性を約5から7ポイント上回っています。

## 特定健診年齢別受診率

	年齢							合計
	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74以上	
令和4年度健診受診率	18.7	18.2	17.1	18.8	29.5	38.2	40.5	31.6
令和5年度健診受診率	15.4	19.8	21.1	20.9	29.3	40.6	44.7	33.9
令和6年度健診受診率	17.7	16.2	18.9	18.4	30.1	38.9	42.3	31.9

	年齢							合計
	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74以上	
令和4年度健診受診率	21.0	23.4	25.7	24.6	35.6	41.0	43.2	37.0
令和5年度健診受診率	19.4	26.0	26.5	27.4	37.6	44.5	45.0	39.0
令和6年度健診受診率	19.9	24.1	24.9	27.5	34.3	42.7	46.1	38.3

資料：「性・年齢階級別特定健診受診率・特定保健指導実施率等（R4～R6）」

## がん検診受診状況

令和3年度から6年度にかけてのがん検診受診率は、全体として令和5年度をピークに横ばいから微減傾向にあります。乳がんや子宮頸がんなどの女性特有の検診は上昇しており、項目間での受診意識に差が見られます。

がん検診受診状況（％）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
胃がん (40歳以上の人)	10.4	11.4	11.6	10.6
肺がん (40歳以上の人)	9.1	9.6	10.2	9.7
大腸がん (40歳以上の人)	10.3	10.9	11.3	11.1
乳がん (40歳以上の女性)	11.9	13.0	13.4	13.8
子宮頸がん (20歳以上の女性)	14.1	14.9	14.9	15.1
前立腺がん (40歳以上の男性)	10.6	11.1	11.3	10.8

資料：「保健センター事業概要」

## 第2期計画実施事業の内容・実績・評価

### 中長期目標（内容・実績・評価）

中長期目標	実績値 (R1)	中間評価 (R4)	評価値 (R6)	目標値 (R7)	評価	
虚血性心疾患の患者割合の減少	患者割合	4.1	3.9	3.6	4.0	減少
	患者数	823	704	603	679	
脳血管疾患の患者割合の減少	患者割合	3.6	3.6	3.3	3.5	減少
	患者数	709	615	546	594	
新規人工透析導入患者数	14	19	16	11	増加	

評価の欄は「実績値(R1)」と「評価値(R6)」を比較したものです。

## 短期目標 個別保健事業（内容・実績・評価）

短期目標 個別保健事業	指標	ベースライン (R1)	中間評価 (R4)	R5	評価値 (R6)	目標値 (R7)	評価	
特定健診受診率の向上	受診率	目標値	60.0	36.8	38.3	39.8	40.3	B
		実績値	33.8	34.3	36.5	35.1		
特定保健指導実施率の向上	実施率	目標値	29.4	31.0	32.0	33.0	34.0	A
		実績値	29.4	30.6	25.1	41.9		
	積極的支援終了者の割合	目標値	0.6	2.0	3.0	4.0	5.0	
		実績値	0.6	13.3	15.2	19.7		
	動機付け支援終了者の割合	目標値	39.5	40.5	41.0	41.5	42.0	
		実績値	39.5	36.3	28.0	49.6		
特定保健指導対象者の割合の減少	目標値	14.2	13.8	13.6	13.4	13.2		
	実績値	14.2	14.7	14.7	13.5			
糖尿病性腎症重症化予防	HbA1c が改善した指導修了者の割合	目標値	50.0	15.0	20.0	25.0	30.0	C
		実績値	0.0	0.0	33.3	0.0		
	保健指導後人工透析移行者数	目標値	0	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0	0		
健診異常値者への医療機関受診勧奨 ①高血圧症受診勧奨 ②糖尿病性腎症重症化予防	受診勧奨後の医療機関受診率	目標値	21.9	26.0	28.0	30.0	32.0	D
		実績値	21.9	①11.3 ②33.3	①8.8 ②25.9	①9.0 ②15.0		
治療中断者への医療機関受診勧奨 ①高血圧症受診勧奨 ②糖尿病性腎症重症化予防	受診勧奨後の医療機関受診率	目標値	18.0	21.0	22.0	23.0	24.0	D
		実績値	18.0	①11.3 ②0.0	①8.8 ②40.0	①9.0 ②0.0		
後発医薬品の利用促進	後発医薬品数量シェア率	目標値	76.1	78.0	79.0	80.0	80.0	A
		実績値	76.1	82.1	83.4	86.1		
多受診者指導 ※多剤投与者への指導は、R3 から実施	重複受診者改善率 ( )内は指導対象者数	目標値	-	適正な受診勧奨にて、R7までに指導対象3%減				C
		実績値	-	0(1)	0(0)	0(0)		
	重複服薬者改善率 ( )内は指導対象者数	目標値	-	適正な受診勧奨にて、R7までに指導対象3%減				
		実績値	-	50.0(2)	0(0)	100.0(1)		
	頻回受診者改善率 ( )内は指導対象者数	目標値	-	適正な受診勧奨にて、R7までに指導対象3%減				
		実績値	-	0(0)	0(0)	0(1)		
	多剤投与者改善率 ( )内は指導対象者数	目標値	-	適正な受診勧奨にて、R7までに指導対象3%減				
		実績値	-	0(3)	20.0(5)	33.3(6)		
がん検診受診率の向上	各がん検診受診率	目標値	① 17.1	19.0	20.0	21.0	22.0	B
		実績値	① 17.1	11.4	11.6	10.6		
	①胃がん	目標値	② 18.7	21.0	22.0	23.0	24.0	
		実績値	② 18.7	9.6	10.2	9.7		
	②肺がん	目標値	③ 18.8	21.0	22.0	23.0	24.0	
		実績値	③ 18.8	10.9	11.3	11.1		
	③大腸がん	目標値	④ 16.4	18.0	19.0	20.0	21.0	
		実績値	④ 16.4	13.0	13.4	13.8		
	④乳がん	目標値	⑤ 17.1	18.0	19.0	20.0	21.0	
		実績値	⑤ 17.1	14.9	14.9	15.1		
	⑤子宮頸がん	目標値	⑥ 28.2	30.0	31.0	32.0	33.0	
		実績値	⑥ 28.2	11.1	11.3	10.8		
⑥前立腺がん	目標値							
	実績値							

## 本市の重点課題

- ① 特定健診の受診率は、微増傾向にあるものの国・県と比較すると低い。特に、40代50代の若年層の受診率が低い。
- ② 特定保健指導の実施率は上昇している一方で、特定保健指導対象者の割合は目標値（13.4%）に至っていない。
- ③ 生活習慣病に占める医療費において、慢性腎不全（透析あり）の医療費は、悪性新生物、糖尿病に次いで高い。
- ④ 人工透析者は、高血圧症、糖尿病の有病率が高く、透析予防には、高血圧症、糖尿病対策が重要。
- ⑤ 医療費も高額になり、様々な合併症を引き起こす糖尿病に対しては、継続的な治療が重要。
- ⑥ ジェネリック医薬品の数量シェアは向上しているが、国の実績（88.4%）には至っていない。
- ⑦ 「重複・頻回受診」、「重複・多剤投与」等に対して、適正受診等の勧奨が必要。
- ⑧ がん検診受診率は、項目によって上昇しているものの、一次検診・二次検診（精密検査）ともに更なる受診率向上が求められる。

## 第3期データヘルス計画の目標

本計画は、被保険者の健康増進と生活習慣病の発症および重症化を予防するための取組みを推進することで、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図ることを目的とします。

### 長期目標

目標項目		令和6年度（実績）	令和11年度（目標）
平均自立期間（要介護2以上）	男性	78.9歳	79.6歳
	女性	83.7歳	84.7歳

### 中期目標

目標項目	令和6年度（実績）	令和11年度（目標）
虚血性心疾患の患者割合の減少 各年4月	3.6%	3.1%
脳血管疾患の患者割合の減少 各年4月	3.3%	3.3%
年間新規透析導入患者数の減少	16人	15人

## 短期目標

優先順位 1	<b>特定健診受診率の向上</b>		2024年度 (令和6年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
	アウトカム 指標	特定健診受診率（法定報告値）	35.1	35.6	36.1	36.6	37.1

優先順位 2	<b>特定保健指導実施率の向上</b>		2024年度 (令和6年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
	アウトカム 指標	特定保健指導対象者の割合の減少	13.5	13.4	13.3	13.2	13.1

優先順位 3	<b>糖尿病性腎症重症化予防</b>		2024年度 (令和6年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
	アウトカム 指標	検査値改善率 ※検査値(HbA1c)が改善した指導終了者	0.0	10.0	15.0	20.0	25.0
		保健指導後の人工透析移行者数	0	0	0	0	0

優先順位 4	<b>健診異常値者への医療機関受診勧奨</b>		2024年度 (令和6年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
	アウトカム 指標	受診勧奨後の医療機関受診率	①9.0	①12.0	①15.0	①18.0	①21.0
		①高血圧症受診勧奨 ②糖尿病性腎症重症化予防	②15.0	②18.0	②21.0	②24.0	②27.0

優先順位 5	<b>治療中断者への医療機関受診勧奨</b>		2024年度 (令和6年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
	アウトカム 指標	受診勧奨後の医療機関受診率 糖尿病性腎症重症化予防	0.0	5.0	10.0	15.0	20.0

優先順位 6	<b>後発医薬品の利用促進</b>		2024年度 (令和6年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
	アウトカム 指標	後発医薬品数量シェア率	86.1	86.5	87.0	87.5	88.0

優先順位 7	<b>適正受診等の勧奨</b>		2024年度 (令和6年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
	アウトカム 指標	重複受診者改善率 ()内は通知対象者数	0(0)	5.0 (実績値)	10.0 (実績値)	15.0 (実績値)	20.0 (実績値)
		重複服薬者改善率 ()内は通知対象者数	100.0(1)	50.0 (実績値)	60.0 (実績値)	70.0 (実績値)	80.0 (実績値)
		頻回受診者改善率 ()内は通知対象者数	0(0)	5.0 (実績値)	10.0 (実績値)	15.0 (実績値)	20.0 (実績値)
		多剤投与者改善率 ()内は通知対象者数	33.3(6)	25.0 (実績値)	30.0 (実績値)	35.0 (実績値)	40.0 (実績値)

優先順位 8	<b>がん検診受診率の向上</b>		2022年度 (令和4年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
	アウトカム 指標	胃がん精検受診率	42.9	43.5	44.0	44.5	45.0
		肺がん精検受診率	92.3	92.4	92.5	92.6	92.7
		大腸がん精検受診率	68.3	68.4	68.5	68.6	68.7
		乳がん精検受診率	85.8	86.0	86.5	87.0	87.5
		子宮頸がん精検受診率	75.0	75.1	75.2	75.3	75.4